

令和2年度第3学期始業式

令和3年1月7日（木）

皆さん、明けましておめでとうございます。

2021年が始まりましたが、まだまだ、新型コロナウイルス感染症が治まる気配がありません。皆さんには密を避ける、マスクの着用、手指消毒の励行をお願いします。

この冬休みに、近所の公園を散歩していると、半透明でにぶいつやのある黄色い花が咲いていました。それは、蠟梅（ロウバイ）という花でした。名前の由来は、花の色や光沢が蜜蠟（みつろう）を連想させるからとも言われています。別名、唐梅（カラウメ）とも呼ばれ、その名の通り中国原産の樹木です。ロウバイは12月～2月に、よい香りのする花を咲かせます。また、ウメ、



ロウバイ

令和3年1月3日撮影

スイセン、サザンカ、そしてロウバイの4つの植物は雪中四友（せっちゅうしゆう）と呼ばれ、どれも雪の中で咲く花として知られています。凍えるような寒さの中に咲きながらも、人々の心を温かく照らす色合いを持つロウバイからは、慈愛に満ちた強い心が感じられます。この寒い時期に心にやさしく寄り添ってくれるような花や香りであることから、ロウバイの花言葉は「慈愛」だそうです。まだまだ寒くなりますが、このロウバイを見ていると、冬の寒さに耐えて咲く花の美しさにはたくましさ、強さを感じます。どのような困難にもめげず、凜とした強い意志をもって将来に立ち向かっていきましょう。そうすれば、春がすぐにやってきそうな気がします。皆さんもロウバイを図鑑などで調べ、実物を鑑賞してください。そして、ロウバイのよい香りにときめきながらたくさんの植物が芽吹く季節を待ちましょう。

どうか皆さんにとって、今年もたいへん有意義になりますよう祈念して、始業式の話とします。